

学校だより

令和2年度 第1号 令和2年4月8日発行

令和2年度の始まりに際して
この危機的状況をみんなで協力して乗り越えるために

校長 庄司達夫

いよいよ令和2年度が始まりましたが、新型コロナウイルスの影響は、世界中に大きな影を落としています。感染者が増えた日本国内でも、安倍総理が「緊急事態宣言」を出したことで、東京をはじめとした大都市圏では、様々なことに制限がされ、日常生活にも多大な影響が出ています。本校でも、昨年度末、突然の休校となって以来、皆さん不安な日々を過ごされてきたと思います。お子さんが家庭で過ごした日々はどうでしたか。体調は大丈夫でしょうか。毎日熱を測っていましたか。コツコツと勉強も続けていましたか。長い間、御協力いただきありがとうございました。

これから、ようやく新しい学年が始まります。新しいクラス、新しい仲間、新しい担任と、新しいことだらけの新年度です。早く落ち着いた日々を取り戻すためには、早寝、早起きをして体の調子をを整えるとともに、しっかり朝御飯を食べることが大切です。そして、健康で過ごすことができるよう、マスクをして登校し、登校後にはうがい、手洗いをしっかりおこなうことで感染防止となるよう、皆様の御協力をお願いいたします。

これからの学校での新型コロナウイルス感染拡大防止として、「ギューギュー、ムンムン、ワイワイ」という、いわゆる「3密」をできるだけ避ける取り組みを行っていきます。授業中や休み時間の換気、給食時のランチルームの席の配置の工夫、下校後の不特定多数が触った部分の消毒などの取組を行っていきます。今後も、登下校を含め家庭に協力いただくことがあります。この非常時を安全に乗り切るために、御理解の程、よろしくをお願いいたします。

学習面では、令和2年度から小学部が新学習指導要領の完全実施となり、新しい教科書になりました（中学部では、令和3年度からとなります）。教科書で扱う内容も増えます。例えば小学3年生からの「外国語活動」も、5、6年生の教科「外国語（英語）」も授業時数が増え、教科書の内容もより実践的に生かせるものになります。昨年度3月に休校となって学習が行われていない内容については、今年度の各教科の指導の中で取り上げていきます。学習内容が多くなる分、家庭での主体的な学習の振り返りを行うことが大事になります。宿題のあるなしに関わらず、学校の授業の内容を家庭で復習する習慣を身に付けていきたいですね。

今年度の本校が目指す学校像は「学びを深める学校」です。子どもたちが興味をもって学習に参加し、考えながら知識を身に付け、他の教科学習や日常の生活に生かすことができるよう学習方法も工夫し、子ども自身が学びが深まったと実感できるような学習を進める学校にしていきます。具体的な内容をホームページの「グランドデザイン」に示しました。ぜひ御覧ください。

それでは、今年度一年間、どうぞよろしくをお願いいたします。

なお、全国的な状況を受けて、県立特別支援学校においても、近々に休校措置をとることが見込まれます。その際はプリントやマチコミでお知らせしますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。